

令和5年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）成果発表会

田村市の自然体験を通じて 地域を担う人材を育てる事業



一般社団法人Switch 田村市地域おこし協力隊 佐々木

Sw!tch

地方創生 SDGs
官⇄民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

主な活動内容

自然体験イベント

17回



放課後児童クラブ

出張イベント

11回





趣旨

都市部ではできない
里山・裏山体験、自然体験
の機会を通じて、
人を育てる環境づくり・場所づくりを行い
地域に活動を根付かせる。

背景

自然豊かな土地

→森林で遊ぶ機会は激減

地域と子どもの接点

→急激に希薄化

子どもたちが年少時代に地域での郷土を感じられる原体験を持ってない

将来田村市に戻り、田村市で子育てをして、地域を支えていこうと考えることもなく、さらに人口減少に歯止めがかからなくなる可能性すらある





目的

1. 子どもたちに**自分が生まれ育った地域に愛着や関心**を持たせること。
2. **大人たちの地域に対する役割づくり**を行うこと。
地域や子どもとの関わりを通して自分の原体験を思い起こし、
「郷土を守り、後世に受け継いでいく」思いを強くしてもらうこと。
3. 大人たちが持つ**地域の生活の知恵や文化の体験機会**を提供し、
その継承を図ること。

この活動を地域に根付かせ、

将来的に地域の人々の暮らしが持続可能となることが最大の目標



1.自分が生まれ育った地域に愛着や関心



【遊び場づくり】

荒れ地を開拓し、
自然素材で遊具作り



【親子で思い出づくり】

子どもだけでなく
親の意識醸成を目指す



【地域の自然に触れる】

放課後児童クラブにて
地域の自然素材を用いた
工作体験を実施

2.大人たちの地域に対する役割づくり



【遊ぶ・見守る】

地域の大人が
企画・運営に関わり
子どもたちをサポート



【技術指導】

大人から子どもへ
昔の遊びや生活の工夫
を伝える



【学生の関わり】

子どもにより近しく
地域には貴重な存在である
学生との関わり

3.地域の生活の知恵や文化の体験機会



【伝統体験】

幼少期から伝統に親しみ、
大人から子どもへ
少しずつ知恵と経験を
引き継ぐ



【古き良き里山生活】

昔の遊びや生活の知恵
を楽しみながら体験



【地域の祭り】

子どもと大人が協力して
竹灯籠を作り、
祭りの灯りとして提供

場所の持続可能性

荒れ地を整備

遊び場となる山の荒れ地を
参加者とともに整備



竹で遊具作り

地域の放置竹林から
竹を切り出し
資源として活用



竹炭作り

遊び終わった竹は
参加者とともに竹炭にして
土壌改良剤として活用



地域の持続可能性

～課題と展望～

経済性

社会性

環境性

人・場所の拡大の試行
「観光・商品化」の試行

移住定住

人づくり

場所づくり

観光・商品化

イベント
コミュニティ



田村市常葉振興公社（田村市常葉町）



- ・カブトムシ自然王国を建國し独立を宣言
- ・ムシムシランドを運営

もりのびのフィールドとなる山を提供



竹あかり

主原料、真竹を乾燥→削皮き→乾燥→穴あけ→サンダーで削き→アマニ油、蜜蝋で糊いて仕上げる工程を経てひとつひとつ丁寧に制作した竹あかり(ランプシェード)です。インテリアの装飾照明にいかがでしょうか。お好みの素敵な空間演出をお手伝いいたします。プレゼント等にもいかがでしょうか。



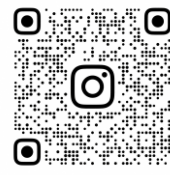
ありがとうございます



[morinobi_tamura lit.link\(リットリンク\)](https://lit.link/morinobitamura)



<https://lit.link/morinobitamura>



MORINOBI_TAMURA